

2019年8月26日

各 位

会 社 名 データセクション株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 林 健 人  
(コード番号：3905 東証マザーズ)  
問い合わせ先 取締役 CFO 望 月 俊 男  
TEL. 03-6427-2565

## 日本テクトシステムズ株式会社との業務提携に関するお知らせ

当社は、日本テクトシステムズ株式会社（以下「日本テクト」といいます。）との間で、『医療、特に認知症領域』を中心としたIT事業に関する業務提携（以下「本業務提携」といいます。）を行うことを決定しましたのでお知らせいたします。

### 1. 業務提携の背景

世界に先駆け超高齢化社会を迎えた日本では、65歳以上の高齢者のうち認知症高齢者が2025年には5人に1人（約750万人）となるとの推計もあり\*、介護負担や医療・介護費の拡大などの社会的課題が日本だけでなく、今後世界でも同様に生じることが予想されます。また、認知症については完治が難しいだけでなく、適切な診断方法や治療方法が確立されていないという状況が続いており、認知症を中心とした超高齢化社会が抱える社会的課題の解決が全世界的に求められています。

\*「平成29年版高齢社会白書」（内閣府）

[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2017/html/gaiyou/s1\\_2\\_3.html](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2017/html/gaiyou/s1_2_3.html)

### 2. 業務提携の理由

日本テクトは、「認知症に関わるすべての人、すべてのフィールドにソリューションを」をコーポレートメッセージに掲げ、学術的背景と臨床現場での知見をもとに認知症領域へ貢献するシステムやサービスの提供に特化したベンチャー企業として、全国の大学病院、基幹病院、専門医療施設など200を超える医療機関にシステムを提供してきた実績があります。さらに近年では、自治体、金融、保険に於ける認知症対策サービスに事業領域を広げ、同領域での採用実績を重ね、データの蓄積を進めています。

一方、当社としても、「Change the Frame テクノロジーで実社会に変革をもたらし、新しい暮らしをつくりあげる。」を旗印に、ビッグデータ解析及びAI/深層学習（ディ-

プラーニング)などの技術を、より社会貢献性の高い医療分野で提供していくことを検討しておりました。

この度、日本テクトと当社は、日本テクトが強みとする学術的背景、臨床現場データをベースとした認知症領域での事業実績、研究開発ノウハウと、当社のデータ解析・AIに関する高い技術力を組み合わせた共同事業の立ち上げを目指し、業務提携を行うことに合意しました。

### 3. 業務提携の内容

本業務提携により具体的に推進する項目は以下のとおりです。

#### ①認知症スクリーニング/診療支援

- ・音声データのAI解析
- ・顔の表情/目の動き画像データのAI解析
- ・MRI脳画像（白質病変）のAI解析

#### ②創薬及び食品等開発の支援

- ・タンパク質のAI解析

### 4. 業務提携の相手先の概要

(1)	名称	日本テクトシステムズ株式会社	
(2)	所在地	東京都港区芝大門 1-10-18	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 増岡 巖	
(4)	事業内容	ICT・AIを活用した認知機能検査・画像解析・音声分析等診断支援システム	
(5)	資本金	160,000 千円 (2019年3月31日現在)	
(6)	設立年月日	2015年5月1日	
(7)	株主	日本テクトホールディングス株式会社 増岡 巖 矢岸 進 坂野 哲平 株式会社オプトベンチャーズ TARO Ventures2 号投資事業有限責任組合	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※当該会社は、非公開会社であり、「大株主の持株比率」及び「当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態」については非開示とすることを求められているため、記載しておりません。

#### 5.日程

(1) 意思決定日	2019年8月26日
(2) 契約締結日	2019年8月26日
(3) 開始日	今後両社にて検討の上、決定する予定です。

#### 6.今後の見通し

2020年3月期業績への影響は軽微であると認識しておりますが、開示すべき事項が生じましたら速やかに開示いたします。

以上